



## ユーザの更新

この章では、Cisco Unified Communications Manager データベース内の既存のユーザ レコードを更新する方法について説明します。

- [CSV データ ファイルを使用したユーザ情報の更新 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内のユーザ情報の更新 \(8 ページ\)](#)
- [ユーザ更新の設定 \(9 ページ\)](#)
- [ユーザの更新関連のトピック \(16 ページ\)](#)

## CSV データ ファイルを使用したユーザ情報の更新

一括管理 (BAT) スプレッドシートで作成したカンマ区切り値 (CSV) データファイルを使用してデータベース内の既存のユーザー情報を更新することも、テキストベースのカスタム CSV ファイルを使ってユーザーファイル形式を更新することもできます。

Unified CM ディレクトリにすでに保存されている既存のユーザ情報と設定値を保持することができます。



- (注) テキストベースのカスタム CSV ファイルを使用したユーザ更新トランザクションでは、ユーザ テンプレートは必要ありません。ユーザ テンプレートを選択した場合、CSV で指定されていないフィールドがテンプレートから更新用に取得されます。それ以外の場合はフィールドが無視されます。また、無視すべきフィールド用に別の値 (# など) を指定した場合、値 # を持つフィールドが無視されます。そのようなフィールドでは、空白は無視すべき値ではないためです。

すでにエンドユーザに関連付けられたデバイスを関連付け解除するために一括管理ツール (BAT) を使用することはできません。エクスポート済みエンドユーザレコードから管理対象デバイスを手動で削除した後、変更したユーザレコードを Cisco Unified Communications Manager データベースにカスタム CSV データファイルとして挿入し直した場合、**[一括管理 (Bulk Administration)]** > **[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)]** を使ってジョブ結果を確認すると、挿入操作が成功したように見えます。しかし、エンドユーザページに管理対象デバイスが表示されたままになります。

## 手順

- ステップ1** 更新するユーザごとの値を定義した CSV データ ファイルを作成します。
- ステップ2** データベースに存在する更新されたユーザーレコードを挿入するには、 を使用します。

## 関連トピック

- [BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成](#) (3 ページ)
- [更新中の既存のユーザ情報の保持](#) (2 ページ)
- [ユーザの更新関連のトピック](#) (16 ページ)
- [ユーザ ファイル形式の更新](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内のユーザ情報の更新](#) (8 ページ)

## 更新中の既存のユーザ情報の保持

ユーザ レコードを更新するときに、すでに Unified CM ディレクトリに保存されたユーザに関する値や設定を保持できます。値を保持する必要のあるフィールドに対して、「#」などの記号を使用できます。次のサンプル CSV データ ファイルで使用される # は、DC ディレクトリに入力済みの値を [マネージャ (Manager)] フィールドに保持するよう BAT に指示します。

```
userid,#,department,,,123456789012,
```

保存済みの値を保持するために使用すべき値を識別するには、次の手順に従います。

## 手順

- ステップ1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] の順に選択します。
- [ユーザ更新の設定 (User Update Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ2** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールドに注目してください。更新後のユーザ値を含む CSV データ ファイルを挿入するときには、このボックスで値の保持用に使用した記号を入力する必要があります。
- ステップ3** 値を保持するために使用する記号を決定します。
- ステップ4** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールド内のこの値を、BAT スプレッドシート ボックスに入力します。
- ステップ5** BAT スプレッドシート フィールド内のこの記号を、保持すべき値に対して使用します。

## 関連トピック

- [ユーザの更新関連のトピック](#) (16 ページ)

## BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、既存のユーザのグループを更新するための CSV データ ファイルを作成できます。

BAT スプレッドシートで行を追加した後、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。エクスポート済みの CSV 形式ユーザ更新データ ファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます：

Update\_Users-timestamp.txt

ここで、<timestamp> はファイルが作成された正確な日時を表します。

システムはデフォルトのファイル名を使用して、ファイルを C:\XlsDataFiles\ に保存します。または、ローカルワークステーション上の既存の別のフォルダにファイルを保存することもできます。エクスポートしたファイルをローカルワークステーションに保存したら、CSV 形式のデータファイルの名前を変更できます。いずれかのフィールドにカンマを入力すると、BAT 形式にエクスポートする際に BAT.xlt はそのフィールド エントリを二重引用符で囲みます。



(注) CSV ファイル名にカンマが含まれていると (例 : abcd,e.txt) 、サーバにアップロードできません。

スプレッドシートに空の行を含めた場合、システムでは空の行をファイルの終わりとして扱います。空白行の後ろに入力したデータは、BAT 形式に変換されません。

すでにエンドユーザに関連付けられたデバイスを関連付け解除するために一括管理ツール (BAT) を使用することはできません。エクスポート済みエンドユーザーレコードから管理対象デバイスを手動で削除した後、変更したユーザーレコードを Unified Communications Manager データベースにカスタム CSV データファイルとして挿入し直した場合、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] を使ってジョブ結果を確認すると、挿入が成功したように見えます。しかし、管理対象デバイスは Cisco Unified Communications Manager Administration の [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウのリストに引き続き含まれます。

### 手順

- ステップ 1** BAT.xlt ファイルをダウンロードして開きます。
- ステップ 2** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
- ステップ 3** ユーザ情報を追加するには、スプレッドシートの下部にある [ユーザの更新 (Update Users)] タブをクリックします。
- ステップ 4** すべての必須フィールドと関連するオプション フィールドに値を入力します。

各列の見出しではフィールドの長さが指定され、また必須であるか、オプションであるかも指定されます。フィールドの説明については、「[表 1: ユーザ更新のための BAT スプレッドシートのフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

**ステップ 5** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored) ] フィールドでは、DC ディレクトリに保存されていた値を保持するよう BAT に指示するために使用する記号を入力します。保持するフィールドの値に、同じ値を入力します。

**ステップ 6** BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送するには、[BAT にエクスポート (Export to BAT) ] をクリックします。

システムはデフォルトのファイル名 `Update_Users-timestamp.txt` を使って `C:\XlsDataFiles\` にファイルを保存します。または、[参照 (Browse) ] を使用して、ローカルワークステーション上の既存の別のフォルダにファイルを保存することもできます。

CSV データ ファイルの読み取り方法を確認するには、BAT 内の [ユーザの更新 (Update Users) ] ウィンドウの [サンプルファイルの表示 (View Sample File) ] リンクをクリックしてください。

### 次のタスク

BAT から CSV データ ファイルにアクセスできるようにするには、CSV データ ファイルを Unified CM サーバの最初のノードにアップロードする必要があります。

### 関連トピック

- [ユーザの更新関連のトピック \(16 ページ\)](#)
- [ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

## BAT スプレッドシートのユーザ データ更新フィールドの説明

次の表では、BAT スプレッドシートでユーザ詳細を更新するためのフィールドについて説明します。

表 1: ユーザ更新のための BAT スプレッドシートのフィールドの説明

フィールド	説明
ユーザー ID	電話ユーザの姓を、1 文字以上 128 文字以下で入力します。
[マネージャ ユーザ ID (Manager User ID) ]	この電話ユーザに対して、マネージャのユーザ ID を 128 文字以内で入力します。

フィールド	説明
パスワード (Password)	<p>ユーザが <b>Cisco IP Phone Configuration</b> ウィンドウにアクセスするために必要なパスワードを、最大 128 文字で入力します。</p> <p>ユーザ テンプレートを追加するときには、CSV データ ファイルで、または、BAT ユーザ インターフェイスを使用してパスワードを指定する必要があります。各ユーザまたはユーザ グループの個々のパスワードを適用する場合、CSV ファイルでパスワードの情報を指定します。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、ユーザを BAT に挿入するときにデフォルトのパスワードを指定します。</p>
[部署名 (Department) ]	この電話ユーザに対して、部署番号を 64 文字以内で入力します。
[デフォルトのプロファイル (Default Profile) ]	このユーザとデバイスのデフォルト プロファイルを、50 文字以内で入力します。BAT で表示される Unified CM の管理の、既存の UDP のリストから、ユーザ デバイス プロファイルを選択できます。
[ユーザ ロケール (User Locale) ]	このユーザと関連付ける言語と国のセットを、50 文字以内で入力します。この選択により、このユーザに対して存在する文化依存属性と、Unified CM のユーザ ウィンドウと電話機でユーザに表示される言語が決まります。
パスワード (Password)	<p>ユーザが <b>Cisco IP Phone Configuration</b> ウィンドウにアクセスするために必要なパスワードを、最大 128 文字で入力します。</p> <p>ユーザ テンプレートを追加するときには、CSV データ ファイルで、または、BAT ユーザ インターフェイスを使用してパスワードを指定する必要があります。各ユーザまたはユーザ グループの個々のパスワードを適用する場合、CSV ファイルでパスワードの情報を指定します。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、ユーザを BAT に挿入するときにデフォルトのパスワードを指定します。</p>
PIN	<p>エクステンション モビリティに使用する個人識別番号 (PIN) を、128 桁以下の数字で入力します。</p> <p>ユーザ テンプレートを追加するときには、CSV データ ファイルで、または、BAT ユーザ インターフェイスを使用して PIN を入力する必要があります。各ユーザまたはユーザのグループの個々の PIN を適用する場合は、CSV ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザにデフォルトの PIN を使用する場合は、ユーザを BAT に挿入するときにデフォルトの PIN を指定します。</p>

フィールド	説明
[電話番号 (Telephone Number) ]	電話機のプライマリエクステンション (通常は、回線1) の電話番号を最大 64 桁の数字で入力します。
[プライマリ エクステンション (Primary Extension) ]	このフィールドはユーザを追加した後に表示され、そのユーザのプライマリ電話番号を表します。デバイスをユーザに関連付ける場合は、プライマリ ラインを選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。  Unity Ingegration 用にシステムを設定する場合は、[ボイス メールボックスの作成 (Create Voice Mailbox) ] リンクが表示されます。
[関連付けられた PC (Associated PC) ]	Cisco SoftPhone および Unified CM Attendant Console のユーザに必要なこのフィールドは、ユーザが追加された後に表示されます。
[IPCC 内線 (IPCC Extension) ]	このユーザの IPCC 内線を最大 50 文字で入力します。
[メールID (Mail ID) ]	ユーザの電子メールアドレスを、255 文字以下で入力します。
[BLF プレゼンス グループ (BLF Presence Group) ]	データベース番号 (プレゼンス エンティティ) のステータスを監視する BLF プレゼンス グループを入力します。  BLF プレゼンス機能の詳細については、『 <i>Feature Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager</i> 』を参照してください。
[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (Subscribe Calling Search Space) ]	Unified CM 管理で設定されたすべてのコーリングサーチスペースが、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (Subscribe Calling Search Space) ] ドロップダウンリストボックスに表示されます。  SUBSCRIBE コーリングサーチスペースは、Unified CM がユーザから発信された Presence サブスクリプション要求をルーティングする方法を決定します。この目的で明示的にコーリングサーチスペースを設定するには、すべてのコーリングサーチスペースを設定する場合と同じようにコーリングサーチスペースを設定します ([コールルーティング (Call Routing) ] > [クラス制御 (Class Control) ] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space) ])。  コーリングサーチスペースをセットアップするには、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Online Help</i> 』を参照してください。

フィールド	説明
[Digest Credentials (ダイジェスト信用証明書) ]	<p>SIP を実行している電話のダイジェスト認証を設定する場合、電話が Unified Communications Manager に SIP リクエストを送信するたびに、Unified CM は電話のアイデンティティを確認します。このフィールドに入力したダイジェスト資格情報は、<b>【電話の設定 (Phone Configuration)】</b> ウィンドウで、ダイジェスト ユーザを選択した場合に、電話機に関連付けられます。</p> <p>最大で 128 文字の英数字を使用する文字列を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。</p>
[ユーザ グループ (User Group) ]	<p>ユーザが所属するユーザ グループを入力します。</p> <p>(注) [ユーザ グループ (User Group) ] フィールドは、[ユーザ グループの数 (Number of User Group) ] フィールドに 1 よりも大きな値を設定した場合に表示されます。</p>
[Directory URI]	<p>このユーザのプライマリ エクステンションに関連付けるプライマリ ディレクトリ URI を入力します。username@host の形式で入力してください。最大 47 文字の英数字からなるユーザ名を入力します。ホストアドレスには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。</p> <p>(注) Unified CM の管理ページで、引用符またはコンマが組み込まれた複数の URI を入力できます。ただし、一括管理を使用して、二重引用符およびコンマが組み込まれた複数のディレクトリ URI が含まれている CSV ファイルをインポートする場合は、ディレクトリ URI 全体を引用符で囲み、組み込まれた引用符を引用符でエスケープする必要があります。たとえば、「Jared, "Jerry",Smith@test.com」というディレクトリ URI は、CSV ファイルでは「"Jared,""Jerry"" ,Smith@test.com"」と入力する必要があります。</p>
[セルフサービス ユーザ ID (Self-Service User ID) ]	<p>セルフサービス ユーザ ID は、ユーザを識別するために使用される DTMF 数字列です (通常はユーザの電話番号と同じです)。</p>
[プロファイル (User Profile) ]	<p>[ユーザプロファイル (User Profile) ]は、ユーザのグループ全体にわたって共有される設定の集合です。このプロファイルは、新しいデバイスを作成する際に使用されます。</p>

フィールド	説明
[EM 最大ログイン時間 (EM MAX LOGIN TIME) ]	Extension Mobility (EM; エクステンションモビリティ) および Extension Mobility Cross Cluster のユーザの最大ログイン時間を入力します。値を分単位で入力します。値の範囲は 0 ~ 10080 分 (7 日間) です。

## Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内のユーザ情報の更新

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリで、ユーザレコードのグループを更新できます。

### 始める前に

更新されるユーザ情報を含む .csv データファイルが必要です。

### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration) ] > [ユーザ (Users) ] > [ユーザの更新 (Update Users) ] > [カスタムファイル (Custom File) ] の順に選択します。

[ユーザ更新の設定 (User Update Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [ファイル名 (File Name) ] ドロップダウンリスト ボックスから、この一括トランザクション用に作成した .csv データファイルを選択します。

(注) アップロードした .csv データファイルを表示するには、[ファイルの表示 (View File) ] をクリックします。

サンプル .csv データファイルを表示するには、[サンプルファイルの表示 (View Sample File) ] をクリックします。

**ステップ 3** [ユーザテンプレート名 (User Template Name) ] ドロップダウンリスト ボックスから、この一括トランザクション用に作成したユーザテンプレートを選択します。

**ステップ 4** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored) ] フィールドでは、DC ディレクトリに保存されていた値を保持するよう Unified CM 一括管理ツールに指示するための記号を入力します。

(注) ユーザ更新用に .csv ファイルに入力した値は、ユーザテンプレート内の値をオーバーライドします。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information) ] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 6** ユーザレコードの更新方法を選択します。次のいずれかを実行します。



- すぐにユーザレコードを更新する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- ユーザレコードを後で挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] を選択します。

**ステップ7** ユーザレコードを更新するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールまたはアクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

#### 関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成 \(3 ページ\)](#)

[更新中の既存のユーザ情報の保持 \(2 ページ\)](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[ユーザの更新関連のトピック \(16 ページ\)](#)

## ユーザ更新の設定

一部のフィールドに表示される値は、 から取得されます。 を使用してこれらの値を設定する必要があります。



- (注) 一部のフィールドには2つのチェックボックスがあることに注意してください。最初のチェックボックスは、そのフィールドを更新する必要があるかどうかを決定し、2番目のチェックボックスはそのフィールドに使用する値を決定 (オン/オフ) します。



- ヒント そのフィールドを更新する必要がある場合は、1つ目のチェックボックスをオンにします。選択したユーザにオンにした値を適用する場合は、2つ目のチェックボックスをオンにします。たとえば、[ホームクラスタ (Home Cluster)] の1つ目のボックスをオンにして、2つ目のボックスをオフにした場合は、[ホーム クラスタ (Home Cluster)] のオフ値でユーザが更新されません。

次の表に、クエリ オプションを使用してユーザを更新する場合に使用可能なすべてのフィールドの説明を示します。

表 2: ユーザの更新に関するフィールドの説明

フィールド	説明
ユーザ情報 (User Information)	

フィールド	説明
[マネージャユーザID (Manager User ID) ]	この電話機のユーザのマネージャ ユーザ ID を最大 128 文字で入力します。
[部署名 (Department) ]	この電話機のユーザの部門番号を最大 64 文字で入力します。
[関連付けられたPC (Associated PC) ]	Cisco SoftPhone ユーザと Cisco Unified Communications Manager Attendant Console ユーザに必須のこのフィールドは、ユーザの追加後に表示されます。
[User Locale (ユーザ ロケール) ]	このユーザに関連付ける言語と国のセットをドロップダウンリストから選択します。この選択によって、このユーザに関して存在する文化依存の属性と、Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウと電話機に表示される言語が決定されます。
[ダイジェストクレデンシャル (Digest Credentials) ]	<p>実行中の電話機に対するダイジェスト認証を設定した場合は、電話機が Cisco Unified Communications Manager に SIP 要求を送信するたびに Cisco Unified Communications Manager が電話機の ID を確認します。このフィールドに入力したダイジェスト クレデンシャルは、[電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウでダイジェストユーザを選択するときに、電話機に関連付けられます。</p> <p>最大 128 文字の英数字からなる文字列を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証の詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager Security Guide</i>』を参照してください。</p>
[ダイジェストクレデンシャルの確認 (Confirm Digest Credentials) ]	ダイジェストクレデンシャルが正しく入力されたことを確認するために、このフィールドにクレデンシャルを再入力します。
[サービスの設定 (Service Setting) ]	
[ホームクラスタ (Home Cluster) ]	<p>エンドユーザがこのクラスタに関連付けられている場合に、このチェックボックスをオンにします。エンドユーザは社内の 1 つのクラスタに関連付ける必要があります。</p> <p>(注) エンドユーザが複数のホーム クラスタに関連付けられている場合は、IM and Presence 機能が正しく動作しません。</p>

フィールド	説明
<p>Enable User for Unified CM IM and Presence</p>	<p>IM and Presence 機能のエンドユーザ（ホーム クラスタ上）を有効にする場合に、このチェックボックスをオンにします。IM and Presence 機能は関連するサービス プロファイルで設定します。</p> <p>(注) IM and Presence 機能は、この Unified CM クラスタがホーム クラスタとして指定されているユーザに対してしか有効にすることができません。</p> <p>ヒント [ユーザ管理 (User Management)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] &gt; [UC サービス (UC Service)] メニューを使用して、IM and Presence 機能を設定します。</p>
<p>[割り当て済みプレゼンス サーバ (Assigned Presence Server) ]</p>	<p>システムが非平衡の場合、エンドユーザーを、クラスタにインストールされた サーバーに割り当てます。一括管理ツールを使用して指定したサーバは、プレゼンス冗長グループに含める必要があります。</p> <p>IM and Presence サーバのユーザ割り当てモードが平衡化またはアクティブ/スタンバイに設定されたクラスタでは、一括管理ツールを使用して設定されたユーザ割り当てによって自動ユーザ割り当てがオーバーライドされます。</p>
<p>[UCサービスプロファイル (UC Service Profile) ]</p>	<p>エンドユーザに関連付ける UC サービス プロファイルをドロップダウン リスト ボックスから選択します。</p> <p>(注) [ユーザ管理 (User Management)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] &gt; [サービス プロファイル (Service Profile)] メニューを使用して、エンドユーザのサービスプロファイルをセットアップします。</p>
<p>[プレゼンスに会議情報を含める (Exchange Presence Gateway を CUCM IM and Presence サーバで設定する必要があります) (Include Meeting Information in Presence (Requires Exchange Presence Gateway to be configured on CUCM IM and Presence server)) ]</p>	<p>CUCM IM and Presence サーバ間の同期を確立して、プレゼンス機能で会議情報を追加できるようにする場合に、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) [ホーム クラスタ (Home Cluster)] と [Unified CM IM and Presence でのユーザの有効化 (Enable User for Unified CM IM and Presence)] が有効になっている場合にのみ、このフィールドにアクセスできます。</p>
<p>Extension Mobility[エクステンションモビリティ]</p>	

フィールド	説明
[BLFプレゼンスグループ (BLF Presence Group) ]	ドロップダウンリストから、電話番号、つまり、プレゼンス エンティティのステータスを監視する BLF プレゼンスグループを選択します。
[コーリングサーチスペースの登録 (SUBSCRIBE Calling Search Space) ]	<p>Cisco Unified Communications Manager Administration で設定したすべてのコーリングサーチスペースが [コーリングサーチスペースの登録 (SUBSCRIBE Calling Search Space) ] ドロップダウンリストに表示されます。</p> <p>[コーリングサーチスペースの登録 (SUBSCRIBE Calling Search Space) ] では、Cisco Unified Communications Manager がエンドユーザから発行されたプレゼンス サブスクリプション要求をルーティングする方法が決定されます。[コールルーティング (Call Routing) ]&gt;[クラス管理 (Class Control) ]&gt;[コーリングサーチスペース (Calling Search Space) ] メニューを使用して、コーリングサーチスペースをこの目的専用を設定します。</p>
最大ログイン時間(HHH:MM)	<p>Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) と Extension Mobility Cross Cluster のユーザの最大ログイン時間を、HHH:MM 形式で入力して設定します。</p> <p>値の範囲は、00:01 ~ 168:00 時間です。</p> <p>例 : 168:00、25:16、025:16、:30 または 00:30</p>
[CTIからのデバイスの制御を許可 (Allow Control of Device from CTI) ]	<p>CTIに対してこのデバイスの制御と監視を許可する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>関連する電話番号が共有回線に指定されている場合、1つ以上の関連するデバイスでCTIでサポートされているデバイス タイプとプロトコルの組み合わせが指定されていれば、このチェックボックスをオンにする必要があります。</p>
[クラスタ間のエクステンションモビリティの有効化 (Enable Extension Mobility Cross Cluster) ]	[クラスタ間エクステンションモビリティのCSS (Extension Mobility Cross Cluster CSS) ] 設定を有効にする場合に、このチェックボックスをオンにします。この設定は、ユーザが EMCC ログイン中にこのデバイス プロファイルを選択した場合に、リモート電話機のデバイス CSSとして使用されます。
[モビリティ情報 (Mobility Information) ]	
[Mobility の有効化 (Enable Mobility) ]	モバイルコネクトをアクティブにする場合に、このチェックボックスをオンにします。これにより、ユーザは、単一の電話番号を使用してコールを管理し、卓上電話と携帯電話でコールをピックアップまたは管理することができます。

フィールド	説明
[モバイルボイスアクセスの有効化 (Enable Mobile Voice Access) ]	ユーザがモバイルボイスアクセス自動音声応答 (IVR) システムにアクセスして、モバイルコネクトコールを起動し、モバイルコネクト機能をアクティブまたは非アクティブにできるようにする場合に、このチェックボックスをオンにします。
[デスクピックアップの最大待機時間 (Maximum Wait Time for Desk Pickup) ]	このユーザの最大待機時間を最大5桁の数字で入力します。これは、携帯電話からデスクフォンに転送されたコールをユーザがピックアップするまでに許可する最大時間を示します。
[リモート接続先の制限 (Remote Destination Limit) ]	ユーザに卓上電話からのコールの転送を許可する電話機の最大数を最大2桁の数字で入力します。
[ジョブ情報 (Job Information) ]	
[ジョブの説明 (Job Description) ]	ジョブの説明を入力します。
[今すぐ実行 (Run Immediately) ]	ユーザの更新ジョブをスケジュールしてすぐにアクティブにする場合に、このラジオボタンをクリックします。
[後で実行 (このジョブをスケジュールして有効にするには、[ジョブ スケジューラ] ページを使用します。) (Run Later (To schedule and activate this job, use Job Scheduler page.)) ]	ユーザの更新ジョブをスケジュールして後でアクティブにする場合に、このラジオボタンをクリックします。

#### 関連トピック

[クエリを使用したユーザの更新 \(13 ページ\)](#)

[ユーザクエリの更新パラメータの選択 \(15 ページ\)](#)

## クエリを使用したユーザの更新

この手順を使用して、更新するユーザを特定するクエリを作成します。ユーザを特定したら、更新するパラメータを選択する必要があります。

#### 始める前に

すべてのユーザを更新する場合は、[検索 (Find) ] を選択し、クエリは指定しません。

## 手順

- ステップ1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] > [クエリ (Query)] を選択します。
- [ユーザの更新クエリ (Update Users Query)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ2** 最初の [電話の検索条件 (Find Phones where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準の1つを選択します。
- 姓
  - 名
  - [ユーザID (User ID)]
  - マネージャ (Manager)
  - [部署名 (Department)]
  - [ホーム クラスタが有効 (Has Home Cluster Enabled)]
  - [ホーム クラスタが無効 (Does not have Home Cluster Enabled)]
  - [IM およびプレゼンスが有効 (Has IM and Presence Enabled)]
  - [IM およびプレゼンスが無効 (Does not have IM and Presence Enabled)]
- ステップ3** 2番目の [ユーザの検索条件 (Find Users where)] ドロップダウン リストから、次の基準の1つを選択します。
- ~で始まる
  - ~を含む
  - 次の文字列と完全に一致する
  - 次の文字列で終わる
  - 空である
  - ~が空ではない
- ステップ4** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- ヒント データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに、[検索 (Find)] を選択します。
- ヒント さらにクエリを定義し、複数のフィルタを追加するには、プラス (+) ボタンをクリックして、ステップ2～3を繰り返します。
- ステップ5** [検索 (Find)] を選択します。

検出されたユーザのリストが表示されます。[ユーザの更新 (Update Users)] ウィンドウには、選択したユーザの詳細が表示されます。

---

### 次のタスク

ユーザの更新パラメータを選択します。

### 関連トピック

[ユーザクエリの更新パラメータの選択 \(15 ページ\)](#)

[ユーザ更新の設定 \(9 ページ\)](#)

## ユーザクエリの更新パラメータの選択

更新するユーザを特定したら、次の手順を使用して、それらのユーザを更新するためのパラメータを選択して値を定義します。

### 手順

---

- ステップ 1** [ユーザの更新クエリ (Update Users Query)] ウィンドウで、[次へ (Next)] を選択します。クエリのタイプを変更する場合は、[戻る (Back)] を選択します。  
[ユーザの更新 (Update Users)] に、選択しているクエリのタイプが表示されます。
- ステップ 2** 更新するフィールドの左側にあるチェックボックスをオンにします。  
この選択によって、フィールドの既存の値を上書きするよう BAT に指示が出されます。  
(注) BATによって、更新チェックボックスをオンにしたフィールドのみ更新されます。
- ステップ 3** 必要なユーザパラメータを更新します。トピック「ユーザ更新の設定項目」「」を参照してください。
- ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 5** ユーザレコードを更新するには、次のいずれかの方法を選択します。
- すぐにユーザを更新するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] を選択します。
  - 後でユーザを更新する場合は、[あとで実行 (Run Later)] を選択します。
- ステップ 6** [送信 (Submit)] を選択します。  
この操作で、レコードを更新するためのジョブが作成されます。  
(注) [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブにします。
-

## 関連トピック

- [クエリを使用したユーザの更新](#) (13 ページ)
- [ユーザ更新の設定](#) (9 ページ)

## ユーザの更新関連のトピック

- [CSV データ ファイルを使用したユーザ情報の更新](#) (1 ページ)
- [更新中の既存のユーザ情報の保持](#) (2 ページ)
- [BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内のユーザ情報の更新](#) (8 ページ)
- [ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。